

今後の目標は何ですか？

個人の展望と社内、会社の展望は同じになるんですけども、私は本当に年齢を重ねてから韓国が好きになって、好きって気持ちが続けられずに、韓国に行って、生活ができたので、夢はやっぱりあきらめなければ叶うと体感してるので、韓国で働きたいという人が諦めずに、スキルをつけて、自分に自信を持ったうえで韓国に行ってほしいというのがあるので、そういう配信活動を。

例えば私みたいに語学が出来なくても、海外で働いたり、生活できるって知れば安心になると思います。「あんなやつでも海外でやって行ける」というのが、安心材料になると思うので、個人的にも影響力を上げて、日本と韓国の架け橋を担っていきたいです。



『大切なのは行動をする事』

人間には全員同じ量のチャンスが転がっています。それを掴むか掴まないかは人それぞれがチョイスします。ひとつのチャンスを逃すたびにどんどん減ります。そのことを頭に入れて、どんな人が成功するのか自分で考えて行動することが一番大切です。

私も今新しいことに挑戦中です。

挑戦する最初はいつも見えない未来に恐怖と不安を感じます。挑戦した結果、失敗することも多々あるけど悔やむことはほぼありません。

挑戦してみると案外「ああこんなことだったのか」と思うことのほうが多いから、私はいつも挑戦するべきだよ。と自分にも他人にも言い続けます。

会社だけではなく、生活全般で韓国でよかったと思うのは？

韓国でよかったなと思うのは、人間関係でいうと本当に親密になってくださる方が多いこと。いつも寄り添ってくれる。友達も本当に「しつこいよ!」というくらい連絡してくれたりとか。友達のお母さんですらすごい気にかけてくれたりとか。そういうのがすごく日本と違って、寂しさを感じる事は無かったです。そこがすごくいい部分。



韓国企業での経験、メリットやデメリットを教えてください。

私が就職した会社はIT系のベンチャー企業でした。私はそこでアパレルコンテンツの日本向けマーケティング担当として働いていました。元々日本のアパレル企業で働いていたからこそ、韓国企業で働く中で感じるメリットやデメリットがありました。

まず日本と違うと感じたのは、企業の志向性でした。韓国の企業は日本と比べてとてもグローバル志向。自社の事業を日本や中国など、国の外に持つというマインドを強く感じました。グローバルに生きていきたいという思いが私にとってはとても刺激的でいい環境でした。また、仕事において男女が対等であること。男性だから、女性だからという考えはなく、対等な文化なので、キャリアを積んでいきたい女性にとっては良い環境だと思います。

その反面、優遇がないから戦っていかなくちゃいけないという面もあります。日本に比べて韓国は競争社会です。個人間の競争が激しく、常に上を目指していくような文化がありました。

そういう社会に慣れていないと、少し疲れてしまうかもしれません。

その時の給料は日本で働いている時のお給料よりも良かったですか？

はい、よくなりました。転職という形だったのと、ビザを出してもらうために、いくら以上じゃないとビザが発行してもらえなかったのです。元々そのオーダーが高い設定というのもあるのと、転職するときに社長にプレゼンをして、そこで前の収入と直接交渉ができたので良かったです。

日本で女性として働いてる時よりも韓国で女性として働きやすかった経験はありましたか？

韓国の方がやっぱり対等なので、キャリアウーマンの道を歩みたい人にはお勧めです。その分、日本は「女性だからいいよ」という文化がやっぱりあるんですね。甘えられるというか、女性だから今日の会議出席しなくてもいいよみたいな事があるのですが、韓国の方が対等だからこそそういう優遇がゼロなので、男性とも戦って行かなきゃ行けないですね、キャリア的に。



活気があるけれども、逆に言うと落ち着きがないということですか？

ホット一息つくというもの結構社会の中に無いじゃないですか、そこにちょっと疲れを感じてしまって、もうちょっとマイペースになっていきたいなあという気持ちが出てきたかと感じます。



それで韓国のアパレル会社に自然と就職したということですか？

実は就職活動はしてなくて、日本のフリーランスのお仕事を韓国に住みながらできる時代になっていたんで、それでやっていこうと思っていた時に、東大門のお仕事をしている中で、色んなお付き合いが始まって、韓国のアパレルIT企業の方にうちに来ませんか？と声をかけてもらったって感じになります。アパレルがメインというより、ファッションのコンテンツをアプリにする会社に入りました。

ちなみに肩書はどういう肩書だったのでしょか？

ジャパンマーケティングのリーダーでした。リーダーと言っても、ジャパンマーケティング事態をできる人がいないということで会社に入れていただいたので、二人体制で仕事をしてました。



MAIKO NAKAMURA

趣味は何ですか？

趣味はやはり皆さんが予想する通り、K-POPが大好きです。アイドルのイベントとかコンサートに参加したくて、最初韓国に行き始めました。そこからやっぱり文化を好きになり、料理が好きになり、よくある日本から韓国に行く9割の方と同じ理由で行きました。

韓国へ行った年となぜ多くの国の中から韓国を選んだのでしょうか？

2017年に韓国へ行きました。その時は、もう既に2012年からK-POPが好きで、韓国語を独学で学んだりしていたんですが、仕事が忙しくて、中々移住したいなあとかあまりそういう気持ちが無かったですけれども、仕事でよく韓国に行くようになって、最初はこういう知識を活かしたい、月に2、3回良く生活を続けるのであれば、移住したほうがいいなあということで移住しました。



ビザを取得し、就職活動をされたんですね

実は就職活動はしてなくて、日本のフリーランスのお仕事を韓国に住みながらできる時代になっていたんで、それでやっていこうと思っていた時に、東大門のお仕事をしている中で、色んなお付き合いが始まって、韓国企業の方にうちに来ませんか？と声をかけてもらったって感じになります。



自己紹介からお願いします。

中村麻衣子と申します。日本生まれ、日本で育ちで、海外で暮らした経験が無いという状況で、33歳の時に韓国が好きで、最初はビザを取らずに好きで行ったり来たりしてました。最初はフリーランスで日本の仕事をしながら、韓国に形をとりまして、最初は東大門の仕入れの仕事とか、日本人に需要がある事を一人で始めまして、そういう事をやってるうちに、韓国の現地のITベンチャーの方と知り合って、うちの会社に来ないか？というオファーを頂きました。韓国に本格的に行き始めてから就職先が見つかって、このまま一人でやって行こうか、就職しようかで悩んだんですけども、ビザの関係でやっぱり移住したいということで、その時が2017年になるんですけど、韓国に移住しました。そこで就職をしてE7のビザを取って、そこから現地で務めていたという経緯になります。

E7というのは？

E7は普通の就職の専門職ビザになります。同じ仕事に日本で5年以上の経験があって、前の会社とかも推薦してくれた上で、今新しく採用してくれる会社側が出してくれるビザになります。